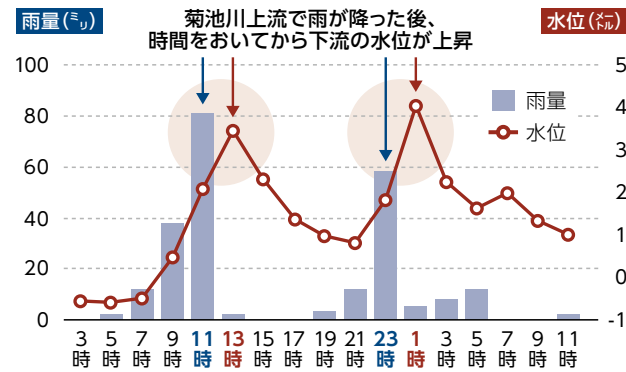


「自分は大丈夫」と思わず、早めの避難を心掛けましょう

上流の雨量と河川水位の関係

(国土交通省水文水質データベースを参考に作成)



観測日 平成28年6月22～23日

降水量 立門雨量観測所(原)

水位 広瀬水位観測所(広瀬)

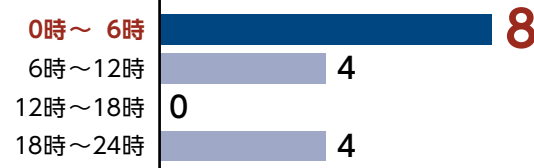
菊池川下流では 約2時間後に水位が増加

上流で強い雨が降ると、時間差で下流の河川水位が上昇します。下流域では雨がほとんど降っていないくても、大雨注意報や警報が発令されているときは、雨雲レーダーで上流の雨の降り方を確認しましょう。



時間雨量50ミリの以上の時間別回数

(気象庁菊池観測所の平成7年～令和6年(30年間)のデータを参考に作成)



非常に激しい雨は、暗い時間に降ることが多いため、**明るいうちに避難を**

1時間の雨量が50ミリを超える非常に激しい雨は、暗い時間帯(大多数の人が寝ている時間帯)に降ることが多い傾向にあります。夜間に大雨が降っている状態で屋外に出ることは大変危険です。大雨の予報が出たときは、雨が降る前でも明るいうちに避難しましょう。

1時間雨量(ミリ)	人の受けるイメージ
80以上～	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
50以上～80未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る
20以上～30未満	どしゃ降り
10以上～20未満	ザーザーと降る

(気象庁ホームページを参照)

避難行動要支援者名簿

災害から身を守るため、日頃からの「自助」「共助」の意識、住民同士の顔が見える関係づくりが重要となることから、市では「避難行動要支援者名簿」の登録を推進しています。

名簿は、災害のおそれがあるときや災害が発生したときに、自ら避難することが困難な人(要支援者)の情報を、区長や民生委員・児童委員、消防団などと共有し、日頃からの声掛けや見守り活動などを通して、災害時の避難支援につなげることを目的としています。

名簿の対象者

- ▶ 高齢者(65歳以上の1人暮らし、高齢者のみの世帯、要介護度3以上の人、寝たきり、認知症など)
- ▶ 身体障害者手帳1～2級の人
- ▶ 療育手帳A1、A2の人
- ▶ 精神障害者保健福祉手帳1～2級の人
- ▶ 難病患者の人
- ▶ その他、避難が困難な人

登録を希望する場合は、詳細や手続き方法などを説明しますので、福祉課へご相談ください(家族などでも可)。名簿についての詳細はホームページをご覧ください。



ホームページ

【問い合わせ・申し込み先】福祉課 ☎0968(25)7213

知ることは防災の第一歩

自然災害から命を守るために

これから梅雨入りし、災害が発生しやすい時期となります。災害時には自らの命を守るよう行動することが大切です。気象情報などを確認し、必要に応じて安全な場所に避難をお願いします。
【問い合わせ先】防災交通課 ☎0968(25)7203

警戒レベル4までに必ず避難! 日頃から警戒レベルや防災マップの確認を

◆警戒レベルとは 水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動を知らせるために、市が発令する避難情報や気象庁が発表する防災気象情報の防災情報を5段階に分けたものです。レベルに応じた行動を普段から確認しておくことが大切です。

「きくち防災・行政ナビ」や各世帯に配布している防災マップ(ハザードマップ)を活用して、自宅の災害リスクを確認し、避難場所・避難経路を決めておきましょう。

◆気象情報や雨量、河川水位などの情報を提供しているホームページ



気象庁
<https://www.jma.go.jp>



防災情報くももと
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/>



川の防災情報
<https://www.river.go.jp>



菊池川河川事務所
<http://www.qsr.mlit.go.jp/kikutl/>

警戒レベル	状 況	避難情報	住民がとるべき行動
警 戒 レベル 5	災害発生 または切迫	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!
↓↓↓↓↓↓ 警戒レベル4までに必ず避難! ↓↓↓↓↓↓			
警 戒 レベル 4	災害の恐れが 高い	避難指示	危険な 場所から 全員 避難
警 戒 レベル 3	災害の恐れが ある	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者 障がい者 乳幼児 などとその支援者は避難
警 戒 レベル 2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	自らの避難行動を確認
警 戒 レベル 1	今後、気象状況 悪化の恐れ	早期注意情報(気象庁)	災害への心構えを高める

「きくち防災・行政ナビ」で、ハザードマップを確認できます!

